



VOL. 24 No.1 The University of the Ryukyus Library Bulletin. 1991. 3. 30

## 新入学生諸君へ

附属図書館長 比嘉長徳

昨年11月1日付けで附属図書館長併任の命をうけて5か月になります。遅い就任の辞になりましたが、新入学生諸君の歓迎を兼ねて、一言ご挨拶申し上げます。

本学へ入学された諸君は、どのような感慨を持って大学生活を始めようとしているのでしょうか。一人一人それぞれの思いがあろうし、抱負があるでしょう。皆さんのこれからの4年間の学生生活と、かなり重要な関わりを持つ図書館を預かる立場から、一二述べたいと思います。

恐らく皆さんの図書館の利用の仕方は、大まかに次の二通りに分けられるでしょう。その一は、講義の下調べ、あるいは講義で課された課題研究・レポート・論文等の準備作成としての利用。その二は、自らの教養を高めるための自由な選択による読書活動です。前者については、講義担当者がそれぞれ具体的な指示をするでしょうから省略し、後者について言及いたします。

私の同僚の一人は、アメリカの大学で学位論文の仕上げのため、図書館ごもりの朝夕を過ごしていた頃、リサーチに疲れると、万巻の図書が並ぶ書架の間を散策し、興味本位に論文と無関係の本を拾い読みをしているうちに、第二次大戦の戦記物に興味集中し、やがてその面の主な資料をほ

### 目次

新入学生諸君へ……………	1	<お知らせ>	
学術情報システムと大学図書館(2)……………	3	○二次資料の移動……………	8
OPAC検索技法……………	5	沖縄関係図書新着案内……………	11
<係の横顔>医学部分館……………	7	1991年新規、中止雑誌リスト……………	13
電子メールシステムの説明会……………	4	図書館事情……………	15
資料紹介「Le Tour du Monde」(1)……………	9	医学部分館だより……………	16

ば通読したということです。その結果、単に日米の勝敗に結びつく戦略的知識を得たということではなく、戦争という国を挙げての大規模な民族的営為の背後にある、両国の社会的、文化的な思考や行動パターンが見えてきた、とのこと。例えば、最初から帰還を想定しない特攻機や戦艦大和の出撃などを決定した日本人の戦争遂行の背景に、精神主義的構造が読み取れたり、また、アメリカ軍部の作戦の立て方の裏に、利潤追及を基底にしたビジネス的発想が見えてきた、と言うのです。こういう browsing reading の経験が、後にアメリカを理解し、また、自国の文化や行動パターンを考える際に、大いに生かされたと言っています。

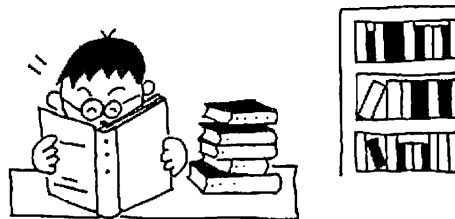
少々長くなりましたが、これが教養を高め、広げていく第二の図書館の利用法の例であります。最初は好き嫌いに応じて、ちょっとした切っ掛けから接したものが特に好きになったり、また、ある程度自分の心を動かしたものを、好奇心と関心と興味を持って追及していくうちに、自ら個性が培われていくことになると思います。

ただ、注意を要することは、自分の好きなことのみを追及していく生き方は、社会生活を営む際には必ず不都合が生じます。何故なら、社会には秩序とか規律とかいう不自由さが存在し、社会の一員としてのわれわれの行動を規制するからです。自己表現と適度の自己主張が社会的意味を持つためには、個性と人格の裏付けを必要とします。己の個性を主張するためには、他の個性も認めなくてはなりません。人格形成には教養が重要な役割を演じます。好みの追及が行われるなかで個性が伸びていき、いろいろな本を読み、それから得た知識を蓄積・醸成していくなかで、教養ある人格が形成されていくのでしょうか。

何だか「風が吹けば桶屋が……」的な匂いが漂ってきましたが、とにかく言いたいことは、図書館に来て大いに本を読み、「活字離れ世代」の汚名を返上して下さい、ということです。稔り多い学園生活を祈っております。

最後に本学の図書館をさらに発展させるために、今後とも関係各位のご協力をお願い申し上げます。予定の紙数がつきましたので、図書館の課題や将来構想などについては、改めて申し述べたいと存じます。

(ひが ちょうとく：法文学部教授)



## 学術情報システムと大学図書館 (2) 情報検索サービス

松 浦 正

学術研究に携わる研究者にとって、それぞれの分野における研究動向を把握し、大量の情報の中から必要な情報を、迅速かつ的確に入手する必要に迫られている。また、情報化時代から、さらに高度情報化へと進むにつれ必要とする情報の範囲も拡大し、さらに迅速な情報入手が必要になることも容易に考えられる。学術情報センターを中心にした学術情報システムの整備も、高度情報化と国際化さらにはエレクトロニクス化を見据えた政策といえる。

そのためにも、研究活動を支援する大学図書館にあっては、学術研究の世界に於ける情報化の動きに合わせたサービスの強化を進める必要がある。とりわけ、情報検索サービスの整備・拡充は研究者の最も望んでいる業務であろう。昭和51年に日本科学技術情報センターが特定回線でJICSTファイル、Index Medicus等のオンラインによる情報検索サービスを開始し、昭和54年にJOIS-IIで一般に公開したのが国内に於けるオンライン情報検索サービスの始まりである。図書館においても、これを機に参考係が設置された所も多く、同時に業務の内容が見直された。その後、時とともに、いろんな機関でデータベースが作成され今日に至っている。図書館の使命として資料の収集・整備は当然のことであるが、一つの大学で必要とする全ての情報を所蔵することは到底あり得ないことであり、研究者の誰一人としてそのような事を期待している者はいないであろう。それよりも、情報を入手するための整備や環境に関心が注がれていると思われる。そのためには、これらの業務に携わる職員を確保することと、通信回線を含む電子メディア等の整備が求められている。容易でないことは確かであるが、これからの図書館を考えると、やらなければならない課題であり、悠長に構えている時間はない。

一言で情報検索と言っても様々な情報がある。学術文献情報から図書館でのOPAC ( Online Public Access Catalog ) と言われる図書・雑誌の書誌・所在情報の検索システムなど様々な情報が在り、その情報を入手する方法にもいろんな方法がある。特定の情報機関に集められたデータベースや個々の研究機関で作成されたデータベースを通信回線を利用して検索するオンライン情報検索、或いは最近になって急速に伸びているCD-ROMによるオフライン情報検索である。これらのシステムが非常な勢いで普及した理由は、言うまでもなくコンピュータ科学の飛躍的な発展による文字、図形さらに音声の電子化と通信技術の発展に他ならない。例えば10数年前の手作業による文献探索は1日、1週間、2週間といった単位で調査していたが、今では10～20分と言った時間単位の作業になっている。

また、Chemical Abstracts, Biological Abstracts, Index Medicusといった世界を代表する二次資料もデータベース化されている一方で冊子体でも刊行されており、これらの冊子体の資料を利用して文献を調べる方法も残されているが、情報検索の主流は電子メディアによる機械検索に移っている。本学図書館でも、学術情報センターの他JICST, DIALOGといった情報機関を利用したオンライン情報サービスを実施している。

学術情報センターでは、科学研究費補助金研究成果概要、学位論文索引といった独自のデータベースを作成し提供している。検索に係わる経費についても校費、科研費、私費の何れでも利用

できる。さらに、本学の研究者にとって明るいニュースは本年2月に開設された学術情報ネットワークを利用することにより通信回線料は無料になったことである。

今日では、全国の大学図書館が学術情報センターのネットワークを通じて参加し、作成している図書・学術雑誌関係の目録所在情報はじめ学会発表データベース等いくつかのデータベースが、国際接続によりアメリカやイギリスからオンラインで利用できるようになってきている。

情報検索サービスに関する今後の課題は、現在利用している学術情報センター等のほか、日本データベース協会に加盟している法人や企業が作成・提供しているデータベースが利用できるような環境を整備すること。また、我々図書館職員の問題であるが、昨年度末に医学部分館に医学文献のCD-ROMの検索用ハード、ソフトを整備したところ非常に多くの利用者に使われている。ただ、ここでも大切なことは、設備さえ備えれば良いと言うのではなく研究者と共に勉強する姿勢を持つということである。

最後に、平成4年2月には専用計算機の設置と併せて、高速デジタル回線用のG4ファクシミリを図書館に設置する予定である。これが設置されれば高品質の文献が入手できることになり図書館システムもより整備される。今後も、図書館のサービスに関し研究者の方々からのご意見、要望をお寄せいただきたい。

(まつうら ただし：附属図書館事務部長)

#### 学術情報センター電子メールシステムの利用に関する説明会を開催しました

前号でお知らせした通り、附属図書館では、情報処理センターと共催して、学術情報センターのサービスのひとつである電子メールシステム(NACSIS-MAIL)の利用についての説明会(デモンストレーション)を去る2月6日から8日までの3日間、午前3時からそれぞれ1時間程度、附属図書館2階の目録検索コーナーで行いました。

参加者は13名と少なかったのですが、電子メールは、いま時流のシステム、電機通信技術にのっとったシステムということもあり、熱心に聞いたり、自ら実際に端末を操作して質問をするなど予定時間をオーバーする程でした。

NACSIS-MAILは学術情報ネットワークを利用すれば、全国どこでも無料で情報交換を行えるもので、琉球大学でこの電子メールシステムに登録している人は2月27日現在、40名にのぼっており、この数は九州地区では、九州大学、熊本大学に次いで多い数となっております。

このシステムは国内はもとより、国外の研究者とも情報交換ができることから、おそらく利用者は今後ますます増加していくものと予想されます。

(学術情報係)

## OPACシステム理解のために 2

先の館報 (vol.23 No.3 1990) で、琉球大学オンライン検索システム (以下、OPACと略します) のデータベースは、マスターファイルとインバーテッドファイルから構成されていて、マスターファイルは、冊子体目録の本文の部分に相当し、インバーテッドファイルは、マスターファイルから作成された索引語 (キーワード) のファイルであることを説明しました。今回は、具体的な検索の方法を紹介します。検索に使用されるコマンドには、SEARCH,BROWSE,AND,OR,NOTなどがありますが、今回は、検索の最も基本となるSEARCHコマンドの使い方を説明します。

### SEARCHコマンドの使い方

SEARCHコマンドは、次の様な形式で入力して実行します。

RS) SEARCH 項目名 関係演算子 検索語

①            ②            ③            ④

(例) RS) SEARCH TR EQ 海洋@

①            ②            ③            ④

それでは、例を基に左から順番にその意味と使用方法を説明します。

まず最初に①のSEARCHですが、これは英語で探すとという意味があります。ですから、SEARCHは、検索者が計算機に対して、入力した検索語を探しなさいという命令語だと考えて下さい。

次に②の項目名ですが、これは検索者が文字を入力しやすいように書名項目にTRという別の名前を与えたものだと考えて下さい。項目名は、書名項目名を含めて全部で14項目あります。次のように、SHOWコマンドを使って項目名を画面に表示させて確認することができます。

RS)SHOW ELEMENT LIST (COMMENT)

利用できる項目名は全部で14個です。

1	BID	システム管理の書誌ID
2	YEAR(Y)	出版年
3	TR(T)	書名
4	VOL(V)	巻号
5	PUB(P)	出版地、出版社、出版年月に関する事項
6	PHYS	本のページ数やサイズなどの形態に関する事項
7	VT	別の書名があればその書名
8	CW	内容著作
9	NOTE	内容の説明、補足等
10	PTBL(PT)	シリーズ名等
11	AL(A)	著者
12	CLS(C)	分類記号
13	SH(S)	内容の主題
14	HOLD(H)	所蔵巻号/請求記号/琉大ID/所蔵館/資料取扱区分

14項目の内、点線で囲まれた10項目については、SEARCHコマンドで検索する際の項目名として利用できますが、残りの4項目については、検索項目名としては利用できません。もちろん、検索結果の表示の際は、全ての項目が表示されます。

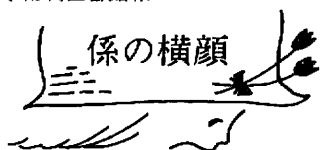
3番目に関係演算子ですが、これにはEQ（項目中の文字が検索語の文字と等しい）、NE（項目中の文字が検索語の文字と等しくない）などがあります。普通は、ほとんどがEQでの検索になると思われませんが、これは省略可能なので、実際の検索の際は、入力せずに実行した方がよいでしょう。その場合には、計算機が自動的にEQがあるものとして実行してくれます。

最後に検索語ですが、これは非常に大事なもので、検索の目的を果たせるかどうかは、いかに上手に検索語を選べるかどうかにかかっているのです。例では「海洋@」となっていますが、これは書名の先頭に海洋という文字がくる書名の図書全てを探しだす検索です。つまり、書名の先頭が海洋でさえあれば、その後どんな文字がきてもヒットするという事です。このような検索を前方一致検索といいます。このように、@ はその部分がどんな文字であってもよいことを表しています。

@ には、次のような使い方があります。

- ・完全一致検索 海洋 「海洋」という書名の図書のみヒットします。
- ・前方一致検索 海洋@ 「海洋法の源流を探る」のように書名の前方が海洋である図書がヒットします。
- ・後方一致検索 @海洋 「鳥狐と海洋」のように書名の後方が海洋である図書がヒットします。
- ・任意一致検索 @海洋@ 「海洋資源探査」「沖縄海洋発展史」「沼湖と海洋」のように書名のどの位置に海洋がきてもヒットします。
- ・両端一致検索 @海洋@入門 「海洋地質学入門」のように書名の前方が海洋、後方が入門である図書がヒットします。

このように、完全一致検索の場合は、入力した文字と完全に一致したものしかヒットしませんが、@ を利用するとその部分がどんな文字であってもヒットするわけです。とても便利です。しかし、@ を利用しての検索にも欠点があります。それは、完全一致検索に比べて検索時間が長くなるということです。完全一致検索の場合は、数秒程度で検索結果が出ますが、@ を利用しての検索は、数十秒程度かかります。それでは、長時間の検索は困る、或いは、漢字がわからないという人はどうすればよいのでしょうか。そこも、このシステムではちゃんとカバーしています。前回に説明しましたが、書名項目、著者名項目、関連書誌（シリーズ名）項目には、漢字（ひらがな等を含む）の後にカタカナでヨミがついています。このヨミは、単語ごとに区切られているので、それぞれが独立した項目のようにインデックスが作られています。ですから、'SEA TR カイヨウ'と完全一致検索を行うと、'海洋'潰瘍'などの文字が含まれる図書の全てを短時間で検索することができるわけです。このように、短時間に確実に必要な図書の情報を引き出すために、検索者は、常に何が最適の検索語であるかを意識しながら検索することが必要なのです。



## 医学部分館

医学部分館は、医学・保健学分野の専門図書館として、昭和60年5月に開館しました。サービスの対象は医学部の学生・職員等本学関係者は勿論ですが、県内の医師・看護学校の学生等その他利用者への閲覧、複写サービスもしています。又、県外の大学図書館等とおしての文献複写や、相互協力など多方面に対応しています。

医学部分館も千原の中央図書館と同様の業務を行っており、びぶりおvol.23,no.2('90.7.2)～vol.23,no.4('91.1.21)で紹介されているので、ここでは医学部分館の特色のうちサービス業務の主なものを次のとおり紹介します。

### ★文献検索について

医学部分館にとって、自然科学特に医学・生物学分野の学術雑誌論文は、生命といっても過言ではなく、必要とする文献をさがすのに利用する資料は以下のとおりであります。

#### 1. 手作業で調べる場合は、次の二次資料（冊子体）を備えてあります。

- |                            |             |
|----------------------------|-------------|
| 英文1. Current contents      | 週刊          |
| 2. Index Medicus           | 月刊          |
| 3. Cumulated Index Medicus | 年刊          |
| 和文1. 医学中央雑誌                | 月3回刊        |
| 2. 医学中央雑誌年間累積索引            | 年刊（件名編、人名編） |

#### 2. 機器を使つての検索は次の方法があります。

英文1. CD-ROM DIALOG社のmedline 1984～1991年版を導入し、利用に供しております。それは、Index Medicusに収載されている雑誌論文についての情報（Abstract付）が入力されており、利用者本人が検索することになっております。なお、検索料は無料です。利用マニュアルは機器の側においてあります。

#### 2. オンライン検索

- ①JOIS Medline 1972～1991（日本科学技術情報センター提供の医学・生物学文献）
- ②DIALOG Medline 1966～1991（アメリカのDIALOG社提供の医学・生物学文献）
- ③NACIS-IR 1982～1991（学術情報センター提供の生命科学文献）

検索については、図書館職員が行うことになっており、検索料は利用者の校費で負担することになっております。

和文 オンライン検索 JOIS JMedline 1981～1991（医学中央雑誌収載の医学生物学文献）

検索については、図書館職員が行うことになっており、検索料は利用者の校費で負担することになっております。

※医学中央雑誌収載の雑誌論文を入力したCD-ROMは1991年秋に発行の予定で、導入について検討中です。

### ★視聴覚室について

医学部分館2階にあり、次のとおり機器を備えてあります。

1. グループ学習用 1セット (ベータ、VHS、Uマチックどれでも使えます。)
2. 個人学習用 ベータ用 5台 (個人学習用でヘッドホンもあります。)
3. その他 VHS用 1セット

※ビデオテープは現在、「目で見える診断手技と手順、全12巻」など183本あります。

リストは1階カウンターに備えてあります。

★ゼミ室 (2室) について

グループ討論やグループ学習をするための部屋で10人程度利用できます。一週間前から予約受付をしております。一階のカウンターで申し込みをしてください。

以上、ご利用をお待ちしております。なお、詳しいことについては、カウンターの職員におたずねください。

### OPAC検索件数をお知らせします。



和洋合計	173,189	
和図書	136,666	
洋図書	36,523	(平成3年2月28日現在)

#### 二次資料を書庫から移動しました

本館3階の4層、5層 (バックナンバー書庫) にあった二次資料を雑誌室新着架の東側に移動しました。

誌名のアルファベット順に配列してあります。

1. Biological abstracts. vol.1(1927) +
  2. Chemical abstracts. vol.14(1920) +
  3. Dissertation abstracts international. vol.43(1983) +
  4. Education index. vol.11(1959) +
  5. Psychological abstracts vol.1(1927) +
  6. Sociological abstracts. vol.16(1968) +
  7. 科学技術文献速報 (電子工学) 1986 +
  8. 科学技術文献速報 (エネルギー) 1986 +
  9. 科学技術文献速報 (機械工学) 1986 +
  10. 科学技術文献速報 (勤続工学・鉱山工学・地球科学) 1986 +
- など40タイトルです。



## 書籍紹介

*Le Tour du Monde* (『世界一周旅行』) シリーズと M.-J. Revertegat (ルヴェルトガ):  
 "Une Visite aux îles Lou-Tchou" (「琉球諸島紀行」1877年)

森田 孟進

ルヴェルトガ (Revertegat) の「琉球諸島紀行」(Une Visite aux îles Lou-Tchou) は『ル・ツール・デュ・モンド』(*Le Tour du Monde*) 誌1882年度第2巻に載った (P.250-256)。同誌は週刊で、1年を前期と後期に分け、半年分をそれぞれその年の第1巻・第2巻としている。1882年度第2巻は通巻第44巻となる。「琉球諸島紀行」が載ったのは、もっとくわしく言えば、第1137号 (1882年10月21日刊) である。週刊の各号のノンブルは通年である (*Le Tour du Monde* にはやや活字を小さくしたサブタイトル Nouveau Journal des Voyages <新旅行ジャーナル> が附いている。当時の慣例によって、雑誌の内容を説明するためである。以下サブタイトルを附けず、『ル・ツール・デュ・モンド』と呼ぶことにする)。

琉球大学附属図書館は『ル・ツール・デュ・モンド』の第1巻 (1860年) から第59巻 (1890年) までを蔵する。同誌の国内における所蔵状況を附属図書館の参考調査係の皆さんにNCで検索していただいたところ、次のような結果が出た。

HARD COPY 91.02.25

洋雑誌所蔵検索・簡略表示 &lt;AA00450057&gt; 1- 5/ 5

):□

&lt;AA00450057&gt; Tour du monde, Nouveau journal des voyages. --1(1860)-68(1894)

MLID:

LOC:

INV :

INYS:

CONT:

MLNM=

AREA: ATTR:

- 1.<FA001787> 東大総書庫参考(1860-1894)1-68
- 2.<FA001652> 筑大(1860-1894)1,7,9,13,19,21-22,25,27,31,35,37,41,...
- 3.<FA009224> 民博(1860-1869;1870-1894)1860-1862,1864-1869;21-68
- 4.<FA001379> 東北大本館(1889-1894)57-68
- 5.<FA005198> 慶大三雑誌(1860-1894)1-68

HARD COPY 91.02.25

洋雑誌所蔵検索・簡略表示 &lt;AA00450068&gt; 1- 4/ 4

):□

&lt;AA00450068&gt; Tour du monde, Nouvelle serie, Journal des voyages et des voyageurs

--ire ann ee(1895)-

MLID:

LOC:

INV :

INYS:

CONT:

MLNM=

AREA: ATTR:

- 1.<FA001652> 筑大(1896-1897)2-3
- 2.<FA009224> 民博(1895-1913)1-19

3.〈FA001379〉東北大本館(1885-1899)1-5

4.〈FA005198〉慶大三雑誌(1895-1913)1-4,6-19

上記の検索結果から次のようなことがいえるだろう。(1)『ル・ツール・デュ・モンド』は第68巻(1894年)まで刊行された。国内で第1巻から第68巻までを欠巻なく所蔵しているのは東大と慶大である。(2)1895年以降は新シリーズ(Nouvele série)となり、少なくとも第19巻(1913年)までは刊行されている。サブタイトルも変わった(なお、版元は両シリーズともパリのアシェット書店 Librairie Hachetteである)。

ルヴェルトガがじっさいに琉球の土を踏んだのは1877年である。1877年は明治10年であり、琉球が“沖繩県”となる2年前である。ルヴェルトガの紀行文はじっさいに旅行した年から5年おくれで出たが、タイトルの下段に“本文もデッサンも未発表”とある。廃藩置県直前の琉球の姿が西洋人の眼によって描かれていて、貴重な記録である。

未詳の人名・事項を数多く残してはいるが、『ル・ツール・デュ・モンド』と「琉球諸島紀行」について紹介を試みることにする。

#### I. 『ル・ツール・デュ・モンド』

同誌の発刊の意図は、編集責任者のエドゥワール・シャルトン(Edouard Charton)の書いた「序文」(第1巻、1860年)によって知ることができる。(1)読者は特定しない。知識人から農民・商人・職人にいたるまで、あらゆる階層の人々は世界各地のいまだ知られざる情報を面白く、ためになる情報として提供すること。(2)掲載される旅行記は未発表のものを主とするが、既発表のものでも再録の価値あるものは掲載する(翻訳を含む)。(3)旅行記は科学的価値ありと認められたものを載せる。ホラ話めいたものは採用しない。(4)本誌を飾るイラストは一流の芸術家たちによって描かれるであろう。本文に劣らず重要である。

なお、この「序文」は1860年6月30日付になっている。すなわち、この「序文」は1860年1月から毎週1冊ずつ発行して、26分冊を出版し終えたところで、この既刊分を合わせて1860年度第1巻とするにあたって書かれたのである。もちろん巻末には本文とイラストのインデックスも付けられた。サイズは30cm×22cm。原則として各分冊16ページか(琉大附属図書館蔵の26冊分×59巻=1534分冊をチェックする余裕が今回はなかった)。各分冊とも本文以外に2枚の青色の紙に印刷された部分が本文の前についているが、この青色の紙4ページ分はノンブルが打たれていない。このノンブルなしの4ページ分には、タイトル・出版社名、1分冊5サンチーム、1年間予約講読26フラン、半年14フラン等がまず刷り込まれ、ついで、目次、雑報(世界各国の地理学会のニュースなど)、書誌、地図学、通信欄の順で4ページ分が埋められている(ただし、琉大附属図書館所蔵のものについては、入手以前の製本段階でこの青色紙のノンブルなし部分が次号分冊のはじめに綴じられている場合がある。また、年度巻数でいえば、1870年度第2巻は1870年後半期のごく一部と1871年の後半期のほとんどを含む—すなわち、No562分冊は1870年7月15日刊で、その次の号のNo563分冊は1871年7月29日刊となっている)。(つづく)

(もりた もうしん：教養部教授・仏文学)

## 沖縄関係図書新着案内

### 1類 哲学

1. 沖縄の信仰用語 (比嘉朝進) 那覇 風土記社 1991.2
2. 説教・沖縄一救いの光りは辺境から (名護良健) 燦葉出版社 1990.11

### 2類 歴史

3. 哀惜無限一昌谷忠海追悼遺稿録 (刊行会) ウニタ書舗 1990.9
4. ふるさとに生きがいを求めて: 喜如嘉の風土 (土産・土性) - 考察 - 地域の自然・生活文化の再生及び平和と生きがいへの志向 - (平良真六) 1990.8
5. イーター島: 伊計島生活誌 (中石清繁) 1990.10
6. 伊是名村史 上中下巻 (編集委員会編集) 1988-1989.6
7. 知名瀬: 歴史さんぽ (西加清治) 名瀬広報社 1990.10
8. 沖縄人名録: 沖縄企業録1991 (沖縄タイムス社編集) 那覇 1990.12
9. 西郷のアンゴ (島妻) - 愛加那一 (潮田聡・木原三郎) みずうみ書房 1990.3
10. 先史古代の沖縄 (高宮廣衛) 第一書房 1991.1 (南島文化叢書12)
11. 上之屋誌 (上之屋互助会) 那覇 1989.3
12. 近代日本社会と「沖縄人」(富山一郎) 日本経済評論社 1990.12
13. 近代日本社会と「沖縄人」(富山一郎) 日本経済評論社 1990.12
14. 日本民俗文化資料集成 第五巻 (谷川健一編) 三一書房 1990.12
15. 日本蛮人伝統の研究 (田辺悟) 法政大学出版局 1990.3
16. 沖縄・福健交流顛末記-その舞台裏を語る- (高橋俊和) 那覇 ひるぎ社 1991.1
17. 沖縄を考える: 大田昌秀教授退官記念論文集 (東江平之・宮城悦二郎・保坂廣志編) 那覇 アドバイザー 1990.10
18. 「おもろ」の思想 下 (崎間敏勝) 与那原琉球文化歴史研究所 1990.12 (「琉球の文化と歴史の考察」第9号)
19. 来訪するギレーの神シマノーシ: 渡名喜島 (比嘉康雄) 那覇 ニライ社 1991.1 (神々の古暦7)
20. リーディングス労働市場論: 沖縄を中心に (たいら こうじ監修) 那覇 沖縄労働経済研究所 1990.6
21. 戦争をみた大きな木 (大川悦生作・具志堅青鳥絵) あすなろ書房 1990.7
22. 島々は花綵: ヤポネシア孤は物語る (花崎皋平) 社会評論社 1990.11 (思想の海へ「解放と変革」25)
23. 柳田国男の思想 (梶木剛) 勁草書房 1989.12

### 3類 社会科学

12. 地方自治を住民の手に: 検証・1960年の名瀬市財政再建闘争 (吉田慶喜) 那覇 あけぼの出版 1990.12
13. 神々の祭祀 (植松明石) 凱風社 1991.1 (環中国海の民俗と文化第2巻)

### 4類 自然科学

25. 熱い自然-サンゴ礁の環境誌 (サンゴ礁地域研究グループ) 古今書院 1990.9 (日本のサンゴ礁地域1)
26. 黒潮の国で (木崎甲子郎) 那覇 沖縄タ

- イムス社 1990.11 (タイムス選書2)
27. マングローブの生き物たち：西表島 (吉見光治) 那覇 ニライ社 1990.12
28. メンタルヘルスを語る一心に安らぎを求めてー (城間政州) 1990.8
29. 日本の自然景観 沖縄版 (環境庁編) 大蔵省 1989.9
30. 琉球列島維管束植物集覧 (島袋敬一) 那覇 ひるぎ社 1990.11
31. サンゴ礁の華：南の海を彩る魚たち (大方洋二) 那覇 新星図書出版 1990.9
32. 島医者ゆんたく (藤江良雄) 那覇 ひるぎ社 1991.2

6類 産業

33. 「ひこうき」あれこれー日航おじさんの質問箱 (日本航空沖縄空港支店) 那覇 沖縄タイムス社 1990.11
34. 北海道と沖縄だけのリゾートの本 vol.1 (月刊おきなわ情報編集室編集) 札幌 共同文化社 1990.9
35. 放送余聞ー草創期のラジオ・テレビー (安里慶之助) 1989.11

7類 芸術

36. 海勢頭豊作品集 (海勢頭豊) 宜野湾 ロマン書房 1990.11
37. 五線譜宮古のあやぐ (富浜定吉) 那覇 文教図書 1990.11
38. 遙かなる甲子園：アクションコミックス第10巻 (戸部良也・山本おさむ) 双葉社 1990.12
39. 空手の心と技 (村上勝美) 新人物往来社 1991.2
40. 空手道教範復刻版 (船名腰義珍) 長野カゾサ 1990.9

41. みなみの星座 (山入端一博) フジイ画廊 1990.8
42. 沖縄伝統古武道ー初級その型と応用ー (仲本政博) 那覇 文武館 1989.5
43. 沖縄演劇の魅力 (大城立祐) 那覇 沖縄タイムス社 1990.11 (タイムス選書II-1)
44. 白保：Shiraho (中村征夫) 情報センター出版局 1990.12
45. 八重山古典民謡・古謡全集ー五線譜・工工四併記ー改定・増補 (糸洸長良) 1990.2

8類 言語学

46. おもろさうしの動詞の研究 (高橋俊三) 武蔵野書院 1990.1
47. 島のことば：沖永良部島 (甲東哲) 三笠出版 1988.5

9類 文学

48. でておいでキジムナー (すずきてるこ) 習志野 ユー・コスモス 1990.7
49. 漂海録 (張漢詰) 新幹社 1990.12 (耽羅叢書2)
50. 岸本マチ子詩集 土曜美術社 1990.11 (日本現代誌文庫41)
51. 沖縄の海人 (酒井敦) 晶文社 1990.12
52. 沖縄文学全集 第2巻 詩 (編集委員会編集) 国書刊行会 1991.1
53. 島尾敏雄 (吉本隆明) 筑摩書房 1990.11 (筑摩叢書344)
54. 東海の赤い地図：沖縄の少年 第2部 (儀間海邦) 新幹社 1990.12
55. 「ヤポネシア論」の輪郭ー島尾敏雄のまなざしー (岡本恵徳) 那覇 沖縄タイムス社 1990.11 (タイムス選書II-3)
56. 沖縄・文学を通して反核反戦を考えるつどい 1990.12 (島空間から・第6集)

## 1991年版新規購入外国雑誌

誌名	発行頻度	発行国	購入学科
1 American Journal of Community Psychology	6N	US	医学・保健社会学
2 American Studies International (Newsletters & Journals)	4N+2N	US	短大・英語
3 Australian Journal of Experimental Agriculture	6N	AT	農学・畜産
4 Biometrics	Q	UK	医学・コアジャーナル
5 Critical Care Medicine	M	US	医学・麻酔科学
6 Critique	M	FR	短大・英語
7 Ergodic Theory and Dynamical Systems	4N	UK	理学・数学
8 Experimental Heat Transfer	Q	US	工・機械・エネルギー 短大・機械
9 Focus on Exceptional Children		US	教育・特殊教育
10 Home Economic Research Journal	Q	US	教育・家政
11 An International Journal of Aging and Human Development	8N	US	医学・保健社会学
12 International Journal of Mathematics	4N	SI	理学・数学
13 Journal of Consumer Studies and Home Economics	4N	UK	教育・家政
14 Journal of Insect Physiology	M	UK	農学・農学
15 Journal of International Economics	8N	NE	注文・経済
16 Journal of Southeast Asian Studies	S-A	SI	法文・法政
17 Nonlinearity	4N	UK	理学・数学
18 Remedial and Special Education	B-M	US	教育・特殊教育
19 Review: Latin American Literature and Arts	S-A	US	教養・スペイン語
20 Reviews in Mathematical Physics	4N	SI	理学・数学
21 Revista de Literatura	S-A	SP	教養・スペイン語
22 Systems and Control Letters	10N	NE	工・電子情報
23 Western American Literature	4N	US	法文・英文
24 Zeitschrift fur Nationalokonomie	Q	GW	法文・経済

略語 発行頻度 B-N:隔月刊 M:月刊 Q:季刊 S-A:年2回 N:年間発行回数

発行国 AT:オーストラリア FR:フランス GW:ドイツ NE:オランダ SI:シンガポール  
SP:スペイン UK:イギリス US:アメリカ

## 1991年版講読中止外国雑誌

誌名	購入学科
1 Agricultural and Forest Meteorology	農学・農業工学
2 American Book Publishing Record	図書館
3 Applied & Environmental Microbiology	農学・農芸化学
4 Bulletin of American Meteorological Society	農学・農業工学

5 Canadian Journal of Botany	理学・生物
6 Computers & Mathematics with Applications	工学・電子情報
7 Geological Society of America Bulletin	理学・海洋
8 Grass and Forage Science	農学・畜産
9 Health Education Journal	医学・保健社会学
10 Instrumentalist	教育・音楽
11 International Journal of Computer Mathematics	工学・電子情報
12 Journal of Applied Meteorology	農学・農業工学
13 Journal of Metamorphic Geology	理学・海洋
14 Monthly weather Review	農学・農業工学
15 Newsletter on Stratigraphy	理学・海洋
16 El Pais	教養・スペイン語
17 Sociology of Health and Illness	医学・保健社会学
18 Weather	農学・農業工学

### 1991年版新規購入国内雑誌

誌名	発行頻度	購入学科
1 運動文化研究		教育・保健体育
2 歯科基礎医学会雑誌		医学・歯科口腔外科
3 障害者問題研究	季刊	教育・特殊教育
4 精神薄弱問題史研究紀要		教育・特殊教育
5 精神薄弱問題白書	年1回刊	教育・特殊教育
6 繊維学会誌	月刊	教育・家政
7 日本数学教育学会誌「論究」		教育・数学
8 発達障害研究	年4回刊	教育・特殊教育
9 発達の遅れと教育	月刊	教育・特殊教育
10 武道学研究	年3回刊	教育・保健体育
11 法学教室	月刊	法文・法政
12 Amigos	月刊	教養・スペイン語
13 Mathematica Japonica	年6回刊	理学・数学

### 1991年版講読中止国内雑誌

誌名	学科
1 化学工学	工学・機械工学
2 現代林業	農学・演習林
3 山林	農学・演習林
4 森林航測	農学・演習林
5 内分泌外科	医学・第一外科

- |         |         |
|---------|---------|
| 6 林業新知識 | 農学・演習林  |
| 7 臨床外科  | 医学・第一外科 |
| 8 冷凍    | 工学・機械工学 |

## 図書館事情

### [会議]

- ・図書廃棄委員会
  - 第1回 平成2年10月9日(火)
    - 議題1 委員長の選出について
    - 2 図書資料の廃棄について
- ・共同利用学術雑誌専門委員会
  - 平成2年度第1回 平成2年10月9日(火)
    - 議題1 共同利用学術雑誌について
  - 平成2年度第2回 平成3年1月24日(木)
    - 議題1 共同利用学術雑誌について
  - 平成2年度第3回 平成3年3月5日(火)
    - 議題1 共同利用学術雑誌について
- ・沖縄研究資料調査収集専門委員会
  - 第21回 平成2年11月30日(金)
    - 議題1 平成3年度沖縄関係文献資料保存事業計画について
  - 第22回 平成3年3月8日(金)
    - 議題1 平成3年度沖縄関係文献資料保存事業計画について
    - 2 委員の改選について

### [講演会]

- ・沖縄県大学図書館研修講演会
  - 日時 平成3年1月25日(金)
  - 場所 附属図書館会議室
  - 講師 前琉球大学附属図書館情報サービス課長 山田 勉氏
  - 演題 沖縄の図書館史について
- ・附属図書館職員研修講演会
  - 日時 平成3年2月27日(水)
  - 場所 附属図書館会議室
  - 講師 東京大学附属図書館事務部長 浅野次郎氏
  - 演題 著作権を中心とした大学図書館の諸問題について

## 医学部分館だより

### [第27回医学部分館運営委員会]

日時：平成2年12月20日(木) 16:00~17:00

議題：1. 医学関係資料の収集について

- ①大系、全集シリーズもの等の収集について
- ②単行本(1冊もの)の収集について
- ③医学関係ビデオ資料の収集について
- ④CD等 New Mediaの収集について
- ⑤その他

報告事項：1. CD-ROM, Medlineの導入結果について 2. OPAC(Online Public Access Catalog)の導入について 3. 第38回九州地区医学図書館協議会総会について 4. 研究者が望む今後の医学図書館のあり方に関する医学部アンケート調査結果について 5. その他

### [寄贈図書、雑誌]

平成2年9月より平成3年2月までにご寄贈いただいた主な分を掲載します。(敬称略)

福田雅俊(眼科教授)

「糖尿病網膜症診療ガイドブック」1990 分類：WK810

岩政輝男(病理学第二教授)

「組織化学」1987 分類：QS504

三村悟郎(内科学第二教授)

「國府達郎教授退官記念研究業績集」1990 分類W20.5 他6冊

佐藤良也(寄生虫学教授)

「琉球大学寄生虫学教室業績集I, II」2冊

崎原盛造(保健社会学教授)

「在宅老人ケア支援システムの開発に関する研究」

井上文英(生化学第一助教授)

雑誌「生物物理」 Vol.1~Vol.24(1961~1984) 他2種 95冊

酒井亮二(疫学助教授)

雑誌「Japanese Journal of Cancer Research (Japanese Cancer Association) Vol.76 ~ Vol.79 (1985~1988) 41冊

琉球大学附属図書館報“びぶりお”第24巻第1号[通巻第90号]

平成3年3月30日 発行

発行 琉球大学附属図書館 〒903-01 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

電話(098)895-2221 内線(2143) びぶりお編集委員会